



9月議会も終わり、ようやく一息ついたところです。

先日、三田の郊外を車で走りました。稲刈りの真っ最中。

あぜ道には真っ赤な彼岸花。美しい秋の田園風景に心癒されました。

活動報告(抜粋)

- 7/17 郷土史研究会
- 7/18.25.31 地域創造会議
- 7/23 I T & A R T 研究会
- 7/24 西宮みやっこキッズパーク視察
- 7/29 社会教育委員会
- 8/1 手塚治虫記念館・講演会
- 8/2 文教厚生常任委員会協議会
- 8/4 養父教育研究委員会夏期講座
- 8/7 民主党兵庫県連常任委員会
- 8/9 世田谷区プレイパーク視察(東京)
- 8/9 民主党女性議員ネットワーク会議
(東京)
- 8/10 民主党地方自治体議員フォーラム
(東京)
- 8/15 反戦平和の集い
- 8/19 兵政連議員拡大幹事会
- 8/19 トライスポーツ研究会
- 8/22 わかば奨学金募金活動
- 8/24 子ども議会
- 8/25-27 文教厚生常任委員会視察
(東京都武蔵野市)(新潟県長岡市)
(神奈川県川崎市)
- 9/7-24 9月定例市議会
- 9/25 宝塚市政50周年記念式典

市民ネットでまとめた「2005年度当初予算編成に対する申し入れ書(第1次)」を提出しました。

あいにく市長は県への要請に出ておられました。

上田助役と酒井部長に代わりに受け取っていただきました。



「テンミリオンハウス」へ

これは、地域の実情に応じた市民等の「共助」の取組みに対して、年間1000万(テンミリオン)の中で市が運営の費用補助・支援を行う事業です。

市が場所と財源を。NPO法人が運営する「きんもくせい」というお家に行ってきました。

ミニデイサービスを実施。特徴は、介護認定されている人もそうでない人も誰でも利用できるということ。市民の身近にあって、小さな規模で、軽快なネットワークで、ニーズにこたえること。

ちょうどパソコン教室が終わり、お茶を飲んで歓談中の高齢者の方々・・・いい笑顔でした

議会報告 北野さと子の一般質問及び答弁 ～抜粋～

1. 子どもの人権保護と、そのための社会作りについて

子どものSOSを受けとめる、子ども人権オンブズパーソンの必要性をどうとらえているか。

子どもの権利条約の啓発と宝塚市子ども権利条約制定に向けてのとりくみは、

子どもの居場所づくりの計画はどうなっているか。

プレイパーク（冒険遊び場）の実現予定はあるのか。

市長答弁

- 1 関係機関が連携を取り合い、情報の共有化を図り、よりよい対応ができるようにしていく。
- 2 全市的な課題と受け止め、調査研究を行っている。
- 3 今後の研究課題としたい。

教育長答弁

- 4 子ども人権オンブズパーソンの制度化には至っていないが、パルフレンド派遣事業を実施している。
- 5 啓発に関しては、リーフレットの配布をしている。今後も子どもの人権保護に努めていきたい
3カ年計画で地域子ども教室事業を進めている。
- 6 プレイパーク的活動は、子どもの遊び場検討委員会が中心になり、定期的を開催されている。

中高生の年代の子どもたちの居場所づくりを要望しました

2. 震災復興10年、これからの心のケアと支援について

小中学校における復興担当教員の役割と今後の展望は、

市と学校の防災マニュアルについて、

復興住宅の現状と課題について、

震災復興地域見守り支援廃止後、どのように市としての対応するのか。

（高齢世帯生活援助員 SCS の今後）

市長答弁

発災直後において教職員の協力なしでは適切な避難所運営は困難と想定している。混乱を招かないように、学校独自の防災マニュアルを作成することとなっている。

単身・高齢化が進んでおり、生活援助員を配置し、緊急通報装置等を備えたシルバーハウジングの整備を行っているところである。

定期的な見守り等の支援や個々のニーズに対応した幅広い支援を実施していきたい。

教育長答弁

学校における防災教育の計画立案とその実施。心のケアを必要とする児童生徒の把握と対応をおこなってきた。

画一的でない防災マニュアルの作成や、様々な場面を想定した訓練の実施を図っていきたい。

被災者への心のケアと支援を行う宝塚独自の制度を新設してほしいと要望しました

3 . 教育行政の推進について

現在の宝塚市の教育課題は
学校選択制について
教育環境整備について
教育長の「学力観」について
教育予算について
地域児童育成会の現状と課題について

教育長答弁

教育課題としては

- ・ 確かな学力の向上
- ・ 豊かな心の育成
- ・ 信頼される学校園づくり

教育再生プロジェクトの提言も踏まえ、積極的に取り組んでいきたい。

宝塚市学校改革審議会を設置し、様々な角度から検討を進めている。

施設整備については、鋭意努力していく。教職員のメンタルヘルスケアについては、メンタルヘルス研修会を毎年実施している。

基礎基本を徹底し、自ら学び、自ら考える力を育成することにより、知識、技能に加え、思考力、判断力、表現力を含めた確かな力をつけさせる。



売布小学校地域児童育成会

子ども支援サポーターの配置、図書
の整備、体験学習等は大切なものとして
捉えている。

待機児童の解消、施設面の整備等、
総合的な観点からの対応が必要と考えて
いる。

文教厚生常任委員会の報告

「子育ては楽し」武蔵野市視察

文教厚生常任委員会視察第1日目は、東京都武蔵野市。長期計画の5大優先事業の一つが「子ども施策の推進」。

2002年度は子ども施策になんと!? 100億円を超える予算が計上されたのです。

「・・・次世代を育てる営みは、真の意味での日本の構造改革です。」きっぱりと言い切る土屋正忠市長の信念が、職員の説明からもピリピリ伝わってきました。具体的な子育て施策を聴いて、その幅広さ豊かさは本当にすごい!と思えました。

宝塚でどれだけのことのできるのだろう? 必ずつなげていきたいです。

教育条件整備のための請願

請願の内容

1. 豊かな教育を創造する教育予算を
2. 「障害」児教育の充実のために
3. 教育費の保護者負担軽減のために
4. 中学生の卒業後の進路を保障するために
5. 文化厚生施設の充実のために
6. 地域の教育発展のために

今回の議題はこの請願審議1件。

数日前から紹介議員の署名を各会派をまわってお願いしてきましたが、最終的にはなんと19人も議員さんが賛同し署名してくださいました。

全員一致で採択されました。

活動トピックス

8/4 養父教育研究会夏期講座に
講師として呼んでいただきました

宝塚望郷
ムシに魅せられた少年治虫



「男女共同参画社会をめざして
新たな男女平等教育を」

手塚治虫記念館で開かれた、手塚浩
さん（治虫さんの弟）の講演を聴きま
した。

「豊かな自然がいっぱいだった宝塚。」
「ファミリーランド内にあった昆虫館
に通いつめた」というお話。漫画家と
しての治虫さんではなく、少年時代の
治虫さんのエピソードに、心ワクワク。
昆虫採集！今の子どもたちにこそ体験
させたいな・・・今も冒険心いっぱい
の浩さんにも感激でした。

アトムと寺本議員と一緒にパチリ



西宮 みやっこキッズパーク 視察

編集後記

ひとつ終えてもまた次
の課題や勉強が続きます。

時間に追われながらも、
新しい出会いや発見に心
動かされる毎日です。

これからもご意見やご
要望をどんどんお寄せく
ださい。

お待ちしております。

今後の予定

10/5	子育て・教育・高齢化社会問題 調査特別委員会
10/23	兵庫県民大学
11/4.5.8.9.10	決算特別委員会
11/30~12/15	12月定例市議会

発行人 北野 さと子

連絡先 〒 665-0034

Tel&Fax

ホームページ

宝塚市小林2丁目 12-27-209

0797-73-4556

<http://www.kitanosatoko.com/>